

須恵

2024
231号
JANUARY

令和6年1月31日発行

12月定例会

主な内容

- 生活を守る施策、着々と.....2
- ここが聞きたい(一般質問).....6
- 【特集】議会×須恵町地域包括支援センター.....14
- おじゃましま〜す!(カネシチ今泉醤油醸造有限公司).....22

表紙シリーズ/未来を担う子どもたち「高く高く、もっと高く!」(ファミリーカイトフェスタ)

おじゃましま〜す!

第3回 カネシチ今泉醤油醸造 有限公司

ふるさと納税の返礼品を手掛けてくださっている町内の事業所に、スポットを当てていきます。

住所：須恵町須恵 679
TEL：932-0074

第3回は、ふるさと納税返礼品で、カネシチ醤油詰合せセットが人気の「カネシチ今泉醤油醸造(有)」に、おじゃましま〜す!

迎えてくださいましたのは、5代目の今泉和則さん。会社の来歴から主力商品、未来構想など伺いました。

創業したのは、なんと128年前です!須恵川沿いにあるレンガ造りの煙突が目印の歴史あるしょう油屋です。

カネシチ醤油は、大きな窯で薪を炊き、手間と時間をかけて、じっくりじっくり火入れをし炊き上げて作る、こだわりのしょう油です。

先祖代々受け継がれたその製法で作られるしょう油は、本当にまろやかで甘みのあるものになっています。商品の種類は、さしみしょう油・濃口しょう油・淡口しょう油の3種類です。



こだわりのしょう油

今後の目標は「販路を広げるよりも、家族で出来る範囲で、しっかり伝統を守りながら、地域の皆さまに喜んでもらえる、しょう油作りを続けていきたい」とのことでした。

ふるさと納税返礼品として、また町内では、自社工場・Aコープ須恵店内の直売所お日様広場・長沢ストアー・ミニストップ須恵植木店でもお買い求めできます。薪を使って火入れしたこだわりのカネシチ醤油、まだ口にされていない皆さまも、ぜひ、ご賞味してみたいはいかがでしょうか?

5代目 今泉 和則
伝統を守りながら、これからも地域の皆さまに喜んでもらえる、しょう油作りに励みたいと揺るぎない信念を聴かせてもらいました。



レンガ造りの煙突が目印



編集後記

「一生懸命の町」須恵町は昨年、町制施行70周年を迎えた。歴史を振り返る機会でもあり、来し方に学ぶことは多い。近代の波を迎え、戦後も産炭地として発展すると思いきや、エネルギー革命で危機に陥る。そこで終わらず、知恵を使い、団結して乗り切ってきた先人には感嘆する。私見であるが、須恵町はやはり「一生懸命の町」なのだなぁ、という思いだ。

これからのそうやって未来につなげていくのだろうし、それが我々の世代の仕事でもある。

厳しい時代の中、須恵町はちよつといい。とは言え、今に安住せず、一生懸命のまちづくりを心掛けたい。

田ノ上 真

発行責任者

議長：松山 力弥

広報特別委員会

委員長：稲永 辰己
副委員長：田ノ上 真
委員：今村 桂子
委員：川原 幸治

2024

1
January

福岡県須恵町議会だより Vol.231

【発行】福岡県須恵町議会 【所在地】〒811-2193 福岡県糟屋郡須恵町大字須恵771番地
【TEL】092-932-1151(内線 411 議会事務局) 【FAX】092-933-6579

【印刷・製本】株式会社三光



松山 力弥 議長

12月
定例会

生活を守る施策、着々と

令和5年第4回定例会は、12月1日から8日までの8日間で行われました。
審議の結果、提案された議案19件を原案のとおり可決しました。

令和5年度一般会計補正予算(第5号)
1億6126万円を増額 総額127億6868万円

福祉・医療の充実へ

議長を除く、議員全員で構成される「予算審査特別委員会」において慎重に審査しました。
主な内容は、次のとおりです。

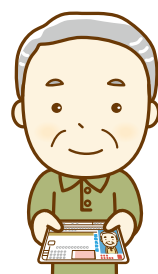
家計の負担軽減へ

低所得世帯支援給付金 2億4150万円
エネルギーや食料品などの物価高騰の負担軽減を図るため、低所得世帯に対し7万円を給付します。対象世帯や給付時期など詳細が決まりしだい、町のホームページでお知らせします。

運転免許自主返納者が増加

高齢者運転免許自主返納支援助成金 100万円

須恵町では、運転免許証を自主返納された75歳以上85歳以下の人を対象に、4万円相当のIC乗車券を交付しています。自主返納者が当初の予想を上回ったため、増額補正となりました。



詳細はこちら



予防接種を促進

带状疱疹予防接種費用助成事業 341万円

带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こり、水ぶくれをとるような赤みや発疹が、神経に沿って帯状に現れる皮膚の疾患です。激しい痛みをともなう場合もあり、注意が必要です。

50歳以上は、ワクチン接種することで発症予防や重症化予防が期待できるため、その接種費用を一部助成します。

〈対象者〉

接種日において、須恵町に住む満50歳以上の人

〈助成内容〉

ワクチンには、生ワクチン(1回接種)と不活化ワクチン(2回接種)の2種類があり、いずれかの1種類に対し助成をします。助成額は、いずれも接種費用の約半分です。

●生ワクチン…接種1回につき5千円(助成は1回まで)

●不活化ワクチン…接種1回につき1万円(助成は2回まで)

予算審査特別委員会の質疑から

一部抜粋

Q&A
レスパイト(休息)事業の内容は?

医療的ケア児在宅レスパイト事業県補助金 36万円

Q この事業はどのような内容か。

A 福祉課長

18歳未満の在宅医療的ケア児およびその家族を対象に、家族の負担軽減のため、在宅での訪問看護費用の一部を助成するもの。

議員の解説

医療的ケア児とは、痰の吸引などの医療的ケアが日常的に必要な児童のことです。在宅の医療的ケア児は、家族が看護や介護を行うため、負担が大きくなります。
このレスパイト事業では、その家族の負担を軽減するため、訪問看護を利用し一時的に家族が休息できるよう費用の一部が助成されます。

Q&A
ベンチの設置場所は?

皿山公園ベンチ設置工事請負費 130万円

Q 皿山公園のどこにベンチを設置するの。

A 地域振興課長

皿山公園には、座って食事をする場所がないため、福岡大分デスティネーションキャンペーンにあわせ、ベンチを5基設置しようと考えている。場所については検討中である。

議員の解説

福岡大分デスティネーションキャンペーンとは、福岡・大分の地方自治体および観光事業者などが、JRRグループと連携し全国からの誘客を図ることを目的とした国内最大規模の観光キャンペーンです。
これにあわせて、皿山公園での観光推進事業が実施され、ベンチの設

原材料費の高騰など

第三幼稚園(仮称)工事請負費 1692万円

原材料費・燃料費の高騰の影響や、近隣住民への対策で追加の工事が必要となり、増額補正となりました。

追加工事の内容は、目隠しネットの設置、隣地に漏出する雨水対策の側溝の敷設などです。

7月の豪雨による災害復旧

●佐谷峯畑地区農道災害復旧工事請負費 300万円

令和5年7月10日の豪雨により発生した法面崩壊などの復旧工事が行われます。

●佐谷建正寺法面災害復旧工事請負費 400万円



法面が崩壊した農道(佐谷峯畑地区)

Q&A
学級の増加数は?

第一小・第三小消耗品費(合計) 214万円

Q 各学校どのくらい学級が増えるの。

A 学校教育課長

第一小学校が2クラス、第三小学校が1クラス増える予定。

Q 第一小学校と第三小学校の金額の違いは。

A 学校教育課長

※すべてのページにおいて、金額は1万円未満を切り捨てています。

12月定例会

その他の議案

補正予算

一般会計(第6号)

4447万円を追加
総額128億1315万円

(全員賛成で可決)

特別会計

◆国民健康保険特別会計

2838万円を追加
総額30億1738万円

(全員賛成で可決)

◆後期高齢者医療特別会計

98万円を追加
総額4億2498万円

(全員賛成で可決)

◆公共下水道事業特別会計

4万円を減額
総額11億8095万円

(全員賛成で可決)

◆水道事業会計

収益的支出 139万円を減額
総額5億7998万円
資本的支出 900万円を追加
総額3億377万円

(全員賛成で可決)

条例改正

督促手数料廃止に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

(全員賛成で可決)

地方税共通納税システムを利用した電子納付の導入により、督促状発行後に当初の納付書で支払った場合と、督促手数料100円が付された督促状で支払った場合とで差が発生し、公平性が保てないため、令和6年4月1日から督促手数料を廃止します。

【廃止される項目】

町税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、道路占用料、水道料金

須恵町手数料条例の一部改正

(全員賛成で可決)

マイナンバーカードを使う代わりに、スマートフォンの利用者証明用電子証明書を使って、コンビニの多機能端末機で印鑑登録証明書や住民票などの交付が受けられるサービスが開始されることにともなう改正です。

須恵町課設置条例等の一部改正

(全員賛成で可決)

令和6年4月から、機構改革により2つの課を新設します。

●こども家庭課

妊産婦や乳幼児の相談を受ける子育て世代包括支援センター(母子保健)と、虐待や支援を必要とする子育て家庭の相談を受ける子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)が一体となります。

また、令和6年4月1日から設置が努力義務化される「こども家庭センター」の機能も持たせ、切れ目のない相談支援を行います。

●公園緑地課

地域の憩いの場をより良いものにするため、現在、各課がそれぞれ管理している町内の公園や緑地を、一元的にまとめ整備・維持管理します。

議員からひょうと

こども家庭課の新設により、妊娠・出産・子育てと、切れ目のない相談ができて安心ですね。子どもが増えることを期待しています。

須恵町国民健康保険条例の一部改正

(全員賛成で可決)

加入世帯で出産予定の被保険者がいる場合、産前産後の期間の保険料が減額されます。

減額の対象となる期間は、出産予定月の前月から出産予定月の翌々月までの4カ月間(多胎妊娠の場合は、出産予定月の3カ月前から出産予定月の翌々月までの6カ月間)で、令和6年1月1日から施行されます。



契約

工事請負契約の変更

(全員賛成で可決)

●第三幼児園(仮称)改築工事
原材料費などの高騰や近隣住民への対策のため、請負額を増額します。1692万9千円を増額し、変更後10億3442万9千円です。

人事案件の審議結果

須恵町農業委員会委員の任命

同意

安河内 隆氏(乙植木区・67歳)

欠員が生じたことにともない

新たに任命

任期 令和5年12月8日から
令和8年7月19日まで

その他の採決結果

須恵町印鑑条例の一部改正 (法改正により、印鑑登録証明書のコンビニ交付において、マイナンバーカードの代わりにスマートフォンだけで取得できるサービスが開始されることにともなう改正と条文の用語の整理。)	全員賛成で可決
須恵町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 (人事院勧告に基づく法改正にともない、一般職の任期付職員のうち「特定任期付職員」の期末手当の支給率を引き上げる。)	全員賛成で可決
須恵町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 (人事院勧告に基づく法改正にともない、町議会議員の期末手当について、年間0.1月分引き上げる。)	全員賛成で可決
須恵町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正 (人事院勧告に基づく法改正にともない、特別職〈町長・副町長・教育長〉の期末手当について、年間0.1月分引き上げる。)	全員賛成で可決
一般職の職員の給与に関する条例の一部改正 (人事院勧告に基づく法改正にともない、職員の期末手当および勤勉手当について、年間0.05月分ずつ引き上げる。また、定年前再任用短時間勤務職員については、年間0.025月分ずつ引き上げる。)	全員賛成で可決
須恵町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 (地方自治法の一部改正により、会計年度任用職員へ勤勉手当を支給することが可能となったことにともない、フルタイムおよびパートタイム会計年度任用職員の勤勉手当に関する規定を追加。)	全員賛成で可決
須恵町職員の育児休業等に関する条例の一部改正 (地方自治法の一部改正により、会計年度任用職員へ勤勉手当を支給することが可能となったことにともない、育児休業中のフルタイムおよびパートタイム会計年度任用職員の勤勉手当に関する規定を追加。)	全員賛成で可決

第4回 臨時会 令和5年9月28日

令和5年度一般会計補正予算(第4号)

1688万円を追加

総額 126億742万円

- 第一小学校長寿命化改良工事請負費 1188万円
新たに工事が必要な部分が見つかり、追加工事が行われます。

第5回 臨時会 令和5年10月6日

須恵町教育委員会委員定数条例の一部改正

教育委員会の一層の活性化を図るため、幅広い分野から委員を任用し、多様な民意を反映させることを目的として改正されました。

委員の定数4人に変更はありませんが、「ただし、町長が必要と認めたときは、4人を超えることができるものとする」という文言が追加されています。

工事請負契約の変更

- 須恵第一小学校長寿命化改良工事
追加工事が必要なため、請負額を増額します。1188万円を増額し、変更後2億7511万円です。



いまむら けいこ
今村 桂子 議員

学校教育課長 学校ガイドライン作成の手引きを基準に活動の5分前までに、運動場等複数個所で気温を測定、暑さ

今村 体育館に、エアコン設置の予定はありますか。
町長 1カ所の体育館が試算で7億円です。3分の1が補助金で残りは借金です。5校一遍では財政的に厳しいので、しっかり検討し、1日も早く設置したいと思います。

子育て支援課長 幼稚園部門は、3歳児、4歳児、5歳児が各20名。保育園部門は、0歳児6名、1歳児18名、2歳児24名、3歳児、4歳児、5歳児が各40名で、受入れ人数

今村 須恵みなみ幼稚園の受入れ人数・保育士の確保は、どうなりますか。

子育て支援課長 未入所児童は国定義の1歳児11名、2歳児1名の計12名を除き、0歳児4名、1歳児35名、2歳児16名、3歳児1名、4歳児6名、5歳児8名の計70名です。

町長 将来的に待機が増加すれば、0歳〜2歳に特化した定員6〜19名の小規模保育所の検討もしていきます。

今村 今後の展望を伺います。
は、104名の増加です。保育士の確保は、受託業者に20名を確保していただき、正職派遣で40名程の予定です。

小規模保育所の検討も

幼児園・保育園の待機児童対策は

子育て

教育

体育・部活等の熱中症対策は

エアコンを設置する

今村 今夏は、最高気温を更新し続け、熱中症による救急搬送・死亡者も増加しました。今後も温暖化により気温上昇が加速すると予想されますが、体育・部活動の実施状況や規定等について伺います。

指数31超で運動場の体育や外遊びを中止、教室内や多目的室での授業に変更しています。15分ごとに休憩時間を設定し、水分補給を指示、体育館は、スポーツクーラーや大型扇風機等を稼働させています。

一般質問

ここが聞きたい！

一般質問とは

議員が町長などの執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をだし、報告や説明を求めることです。
※本会議の様子は、映像配信や会議録でご覧いただけます。



映像配信



会議録

質問方式を変更

議論の活性化と町民の皆さんに分かりやすい議会運営をするため、令和5年12月定例会から、一問一答方式に変更しました。

【今まで】

- 一括質問一括答弁（全ての質問・答弁を一括で行う。）
- 質問は3回まで可能
- 持ち時間は、答弁を含めて1時間

【令和5年12月定例会から】

- 一問一答（質問と答弁を繰り返す。）
- 質問は何度でも可能
- 持ち時間は、答弁を含めて1時間

※質問した議員自身の責任でまとめた原稿を、そのまま掲載しています。

6人の議員が登壇

P7 今村 桂子 議員

- 体育・部活等の熱中症対策は
- 幼児園・保育園の待機児童対策は

P8 田ノ上 真 議員

- HPVワクチン接種は
- 学校体育館にエアコン設置を

P9 白水 春夫 議員

- 若い世代が住みたくなる須恵町に
- 一人暮らしの高齢者のために

P10 川口 満浩 議員

- 利便性の高い公式ラインを

P11 男澤 一夫 議員

- 学童保育の現状と今後の取組みは

P12 百田 輝子 議員

- 住民の災害情報伝達の充実を

映像配信



健康

HPVワクチン接種は

きちんと普及啓発

田ノ上 令和4年度にHPVワクチンの積極的勧奨が再開されました。同時に、3年間の期間限定でキャッチアップ接種が設けられています。HPVワクチンの効果について伺います。

健康増進課長 子宮頸がんは、若い女性に多いがんで、日本では、毎年約1万1千人がかり、約2900人が亡くな

ります。そのほとんどは、ヒトパピローマウイルス（HPV）感染によるとされ、ワクチン導入により予防効果が示されています。

田ノ上 キャッチアップ接種について伺います。

健康増進課長 令和5年度対象者は、平成9年度から18年度生まれの未接種の方です。

防災

学校体育館にエアコン設置を

近いうちに1、2カ所

田ノ上 学校体育館におけるエアコン設置の必要について伺います。

町長 ここ数年の災害の規模を見てみると、体育館を使った避難をせざるを得ない、体育館にエアコンは必需品です。近いうちに1カ所か2カ所、

その向こうに財政面も見ながら、5校ともやりたい、積極的に取り組んでいきたいと思っています。いつやるかというのは、今後議会に報告します。

映像配信

たのうえ まこと
田ノ上 真 議員

田ノ上 時間が残されていません。今後、どのように訴えていくか伺います。

町長 一人でも多くの人が接種できるように、きちんと言及啓発していきたいと思っています。

町政を問う！

一／般／質／問

まちづくり

若い世代が住みたくなる須恵町に

広い視野で政策・事業を展開

白水 若い世代が住みたくなる須恵町について、須恵町に住んで子育てしたい町独自の支援策はありますか。

総務課長 若い世代を対象とした移住促進に類するような事業はしていません。子育て支援の事業は一貫して取り組んでいます。

白水 若い世代に選ばれる町

子どもを産み育てやすい町として発展していくために、どのように考えていますか。

総務課長 子どもの人口は増加傾向で、子どもを支援する政策、事業が評価されていると考えます。今後も、広い視野を持った政策、事業を展開していくことが重要であると考えています。

白水 結婚新生活事業の事業内容を盛り込んだサービスをつくる案は考えていますか。

町長 日頃から若い人たちがのびのびと活躍できる土壌を作っておきたいです。それを考えると結婚相談な

一人暮らしの高齢者のために

元気に暮らせるための施策に重点

白水 一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるように、各行政区における一人暮らしの高齢者の把握は、どのように行っていますか。

福祉課長 住民基本台帳から民生委員に各家庭を訪問してもらい状況確認しています。

白水 孤独死を防止するための新たな見守りの取り組みや強化を伺います。

福祉課長 見守りが必要な高齢者を少なくする、いつまでも元気に暮らせるための施策に重点を置いています。

映像配信

しろうず はるお
白水 春夫 議員

答弁中の平松町長



情報

利便性の高い公式ラインを

情報発信の環境整備を



答弁中の平松町長

川口 須恵町公式ラインは、多岐に渡り情報を発信し、町民にとって大変利便性が高いツールと考えます。積極的に活用することで、住民への情報発信を強化、充実させることが必要ではないでしょうか。ラインの友だちに登録するメリットを教えてください。

能、アンケートや募集の機能、確定申告などの簡易的な予約機能、チャットボットによるホームページへの誘導機能が御利用いただけます。

川口 ラインの友だち登録数を増やすために、どのような啓発活動を行っていますか。

まちづくり課長 ラインは年齢を問わずデジタル情報を発信するインフラとして定着しています。また利用方法を理解されている事も大きな利点です。情報発信ツールは、町民皆様への迅速かつ効果的に情報を伝えるために重要な役割を果たしています。従来の情報発信ツールと併せ、住民の皆様へいち早く確実に情報発信を行う環境整備を、今後も進めたいと考えています。

まちづくり課長 防災、イベント、ごみ出しなどの通知機能

まちづくり課長 一年間の登録者数は959人です。

川口 ラインの友だち登録数を増やすため、商品券を配布するなどのキャンペーンを打ち出されてはいかがですか。

川口 ラインの友だちの人数をどのように受け止めていますか。

まちづくり課長 情報を充実させることが最優先と考えており、キャンペーンは今のところ考えていません。



川口 満浩 議員

まちづくり課長 登録者数は令和3年7月開始から順調に伸びていると思っています。

川口 公式ラインへの登録の意義、また町民への情報発信のツールに対する考えをお聞かせください。

映像配信



町政を問う！

一／般／質／問

子育て

学童保育の現状と今後の取組みは

臨機応変に対応

男澤 須恵町においては人口増加中で、学童保育の需要は増えてくるのではないのでしょうか。現在利用されている保護者から、施設が少し手狭との相談を受けました。各学童保育施設の定員数と現在の利用者数をお尋ねします。

員数127名利用者96名、第三学童が定員数80名利用者58名となっています。

男澤 来年度以降の利用者見込み数をお尋ねします。

子育て支援課長 11月1日時点で第一学童が定員数130名利用者95名、第二学童が定

子育て支援課長 来年度の新規受付は2月1日以降になりますので、新規の数は分かりません。見込みが立っているのは継続部分で、第一学童が78名、第二学童が87名、第三学童が44名の予定です。

男澤 今後、現状施設の対応が厳しくなった時、民間の力を借りる考えはありますか。

子育て支援課長 本町では、公設民

営で学童を開設しています。これがまさに民間の力を借りている状況です。

男澤 自治体によっては学童保育施設が足りず、放課後の学校施設を有効活用している自治体もあります。須恵町は検討する考えはありますか。

子育て支援課長 須恵町には空き教室が全くありません。学校施設を利用することは、極めて困難です。

セキュリティの観点から、難しいのが現状です。

男澤 第二小学校に建設予定の6教室を学童保育にも活用できるように、設計の見直しを考えてはどうでしょうか。

学校教育課長 設計の見直しについては考えていません。



第三学童保育所

映像配信



特集 議会×須恵町地域包括支援センター 座談会

高齢者の相談窓口

地域包括支援センターの声を聴きました

地域包括支援センターは、高齢者やその家族からの相談（介護保険・認知症・介護予防・成年後見・消費者被害・虐待など）に応じ、いつまでも住み慣れた須恵町で暮らせるように支援を行う相談窓口です。
営業日は、平日（月曜日～金曜日）の午前8時30分～午後5時15分です。（相談は無料）



松山 力弥 議長

稲永 辰己 議員

田ノ上 真 議員

今村 桂子 議員

川原 幸治 議員



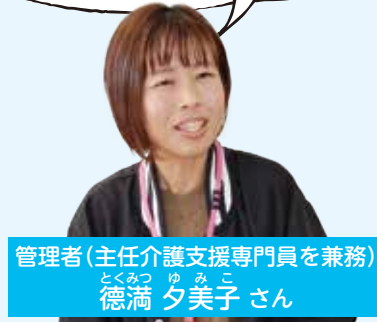
令和5年11月15日対談

安心して自分らしい生活が続けていくために

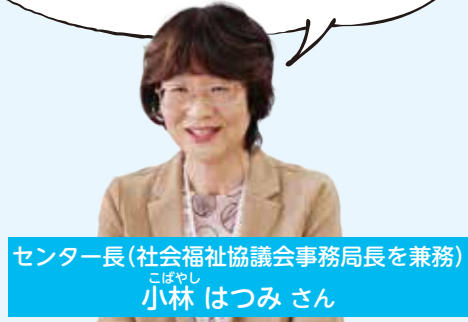
認知症事業の担当をしています。心配なことがあれば、早い段階からでも、気軽に地域包括支援センターへ相談してください。認知症サポーター養成講座は、出張での対応も可能です。

保健師（認知症地域支援推進員を兼務）
小林 めぐみ さん

高齢者の方が少しでも自立した生活を送ることができるように支援をしています。自宅自分らしい生活をされているのを見ると、支援をして良かったと思います。

管理者（主任介護支援専門員を兼務）
徳満 夕美子 さん

認知症サポーター養成講座を受講された人たちが、センターへ会いに来たり話をしに来てくれたりするので、すごく嬉しいです。気軽に相談できる場所があることを、広く町民に知っていただければ、努力を重ねていきたいです。

センター長（社会福祉協議会事務局長を兼務）
小林 はつみ さん

利用者・家族・近隣住民など、それぞれに考えがあり、その思いを感じながら支援を行っています。そのためすぐに解決しない相談もありますが、解決につながった時はホッとします。今後お互いの思いや尊厳を大切に、支援をしていきたいです。



社会福祉士 齋藤 寿光 さん

定期的に訪問すると、「また来てね。元気が出たよ」と言われ、すごく嬉しくて、逆に元気をもらって帰ってきます。大変な仕事ですが、楽しいことや嬉しい事もあり、やりがいを感じています。だから、この仕事を続けられているのだと思います。



介護支援専門員 井上 まゆみ さん

歴史は？

■ センター設置までの流れを教えてください

〈職員〉

平成18年4月に福岡県介護保険広域連合粕屋支部内に、6町（須恵・宇美・志免・篠栗・久山・新宮）合同で設置されました。

平成24年4月には各町に設置され、町直営で運営することになりました。令和元年10月からは、社会福祉協議会へ委託されています。

平成30年6月議会の一一般質問で、町長から社会福祉協議会への委託の意向があり、設置準備のため、令和元年5月～9月に福祉センターの改修工事を行いました。

組織の体制は？

■ 体制・役割について教えてください

〈センター長〉

地域包括支援センターは、保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員を置く必要があります。現在、専門の職員8人体制で支援を行っています。センター長としては、センターの事務を掌理し、担当職員の指揮監督を行っています。

〈管理者〉

管理者として、センターや業務の管理を行い、担当職員に必要な指揮命令を行っています。

保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員は、連携を取りながら総合的に高齢者を支援しています。介護支援専門員は、保健師や社会福祉士などの国家資格を有する者で、介護予防の視点で高齢者を支援しています。

活動の目的は？

■ 活動の目的は何ですか

〈職員〉

地域住民の心身の健康の保持および生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援することが目的です。

活動内容は？

■ どのような活動をしていますか

〈職員〉

総合相談支援事業では、地域での関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者に関するさまざまな相談を受け、適切な機関・制度・サービスにつなぎます。令和3年度と4年度は、電話での相談を含め年間2,000件程の相談がありました。現在、相談室が足りないため部屋

をやりくりしながら工夫して対応しています。

〈職員〉

権利擁護事業では、高齢者が安心して尊厳のある生活を送れるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者の権利擁護のために必要な支援を行います。例えば、高齢者虐待の防止・対応や消費者被害の防止・対応、判断能力を欠く状況にある人への支援などを行っています。

〈職員〉

包括的・継続的ケアマネジメント支援事業では、高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的なケアマネジメントを実践できるよう、地域の基盤を整え、ケアマネジャーへのサポートを行っています。

介護予防ケアマネジメントでは、要支援認定者・事業対象者の介護予防ケアプランの作成を行っています。

〈職員〉

在宅医療介護連携推進事業では、切れ目のない在宅医療と介護提供体制構築のため、関係機関の連携を推進します。

〈職員〉

認知症総合支援事業では、認知症になっても、地域で安心して暮らせる地域の構築を推進します。

地域ケア会議推進事業では、事例を通し医療や介護サービスなどの総合的な調整を行い、ケアマネジメント力を高めるとともに、地域課題や必要な社会資源の把握を行います。

課題は？

■ 活動するにあたり、課題はありますか

〈職員〉

相談を受けて支援の内容を決定していくには、相手との信頼関係を築く必要があり、すぐには解決できないケースもあります。対応が難しい案件もあり、職員の心理的負担も心配しています。



自転車で行訪問しています

ひとりで抱え込まずに相談を

須恵町地域包括支援センターの皆さまには、日頃から身近な相談窓口として、高齢者福祉の中枢を担っていただき感謝いたします。高齢化が進み、認知症や介護など、さまざまな悩みが出てきます。町民の皆さまが、気軽に相談できるよう、よろしく願いいたします。



石狩市視察中

石狩市では手話を福祉の観点からではなく、普段私たちが使う言語と同じと考え、「ろう者も健常者と同じように普段使う言語で普通に生活できる、そして市民も言語的少数者の事を理解するため」を目的とした「まちづくり条例」としての手話言語条例制定でした。

令和5年10月18日(水)
石狩市を視察
「手話は手段ではなく
言語である」

手話言語条例制定に向けて

日本で最初の条例制定実施の市・町である北海道石狩市・新得町の制定までの取り組み、その後の取り組みを学ぶため視察を行いました。

約5万8千人の市民に占めるろう者の割合は0・56%の約330人です。



石狩市役所にて

令和5年10月19日(木)
新得町を視察
「70年の歴史・
障がい者と共生の町」

約5500人の町民に占めるろう者の割合は3・3%の約180人です。



新得町役場にて

全国平均の0・27%を大きく上回っています。昭和28年授産施設(身体・知的障がい者の働く場を提供する施設)を創設してから70年障がい者と共生してきた町です。町のろう者の為に条例が必要だと機運が高まり自然な流れで出来た条例でした。



新得町視察中

視察を終えて

※須恵町のろう者の割合は、町民約2万9300人の0・39%の約115人です。

石狩市と新得町では条例制定までの流れが大きく違いました。石狩市は、ろう者側(福祉の観点)からではなく市民全員が言語少数者を理解するための、まちづくり条例として制定しました。それに対し、新得町は、町民の約3%以上を占めるろう者のために、長年共生していくうちに自然の流れで制定されました。

須恵町では、ろう者は少数派です。今後条例を制定するのであれば石狩市での視察を参考にしている方が自然なのかなと考えました。

しかし条例制定にあたっては、我々議員の一人一人が地域の福祉の輪に入ってやるべきこと、知ることが多々あります。まずはそのことから実践していき、町全体の機運が高まってきた時が条例制定に向けての良いタイミングだと思いました。

須恵町および福岡都市圏の水道施設について

視察の目的

安定して供給されている須恵町の水道水について、また福岡都市圏の水道水が、どのように供給されているかを視察しました。



佐谷浄水場を視察

須恵町水道施設について

須恵町の水源として、須恵ダム、中柱田貯水池、男鳥池があり、導水管で第二浄水場、佐谷浄水場にそれぞれ原水が送られます。各浄水場では、原水の水質が良く濁度も低いことから、須恵町は緩速ろ過方式を採用し、安定した水の供給に努めています。



水の濁度の説明を受ける

海水淡水化センターについて

福岡都市圏は、圏内の需要を満たす河川に恵まれず、筑後川水系の水に依存しています。

水道水の安定供給を図るため、海水から真水を作る為の設備として、海水淡水化センターを設立しました。高い技術を有するこの施設は大変重要で、浸透取水方式を採用して、清澄な海水を安定的に取水することが可能です。今後、逆浸透の原理を利用し、タービンを回転させ発電する事が進められています。



まみずピアを視察

視察を終えて

水は、生活になくてはならない必需品です。今回の視察で、日々安定した水を供給できるよう設備を整え、メンテナンスを行い、施設で従事されている多くの方に支えられていると新たに痛感しました。感謝の気持ちを忘れず、水を大切にしたいものです。



偶然にも見学者8万人を達成

議会改革の取り組み

令和5年11月13日（月）
大磯町を視察

予算・決算特別委員会の審査方法及び事務事業評価についてどのような着眼点で審査しているか、議会として特に重点を置いているところなどを視察しました。



大磯町視察中

予算・決算特別委員会における審査方法の着眼点や議会として、執行部にどのような資料を要求しているかなどを伺いました。



大磯町議場にて

令和5年11月14日（火）
開成町を視察

開成町では、日曜議会、議場の利活用、こども議会の開催、通年議会、一般質問の予告動画、議会専用ホームページの開設など、さ

さまざまな議会改革の取り組みを実施されています。



開成町視察中



開成町議場にて

視察を終えて

大磯町と開成町では、議会改革を積極的に取り組まれています。大磯町では議会改革に力を入れてきたことにより、活発な議論がなされていました。開成町の通年議会・日曜議会・議会報告会などの改革も、とても参考になりました。須恵町でも、課題解決に向けて、問題意識を持ち、審議の充実・向上に努力していきたいと思えます。



開成町議会のホームページ

議会改革を引き継いで

これまで、議会運営委員会の中で議会改革に取り組んできましたが、幅広い意見を交わしながら改革を推進するために、新たに9月定例会において「議会改革調査特別委員会」を設置しました。

委員長	委員
男澤 一夫	今村 桂子
副委員長	委員
田ノ上 真	百田 輝子
委員	稲永 辰己
委員	白水 春夫
委員	平山 諭

はじめに

二元代表制の一翼を担う議会には、執行機関に対する監視機能、議事機関としての政策形成機能、および町政の最終決定機関としての議決責任が存在します。それとともに、町民に対しての説明責任を果たすことが求められます。

当委員会は、議会運営委員会から議会改革の事務を引き継ぎ、よりの確に議会の機能を発揮していくため、議会運営のあり方や議員規範の見直しおよび活性化を進めてまいります。

今後の取り組み

このところ全国の町村議会は、課題が山積しています。報道などでも話題になるのは、議員のなり手不足、若手・女性の比率、不祥事の頻発、低調な議論、執行部への追従、町民との遊離などがあげられます。このうちのいくつかは、近い将来もしくは現時点においても須恵町が直面する課題です。この諸課題に対応するために、議会から改革していく必要があります。まずは、議会運営につき、審査機能を高めていきます。そして、町民の皆さまへの発信のあり方について、調査・検討をしてまいります。主に、以下の事項について進めます。

①予算審査（当初・補正）の機能向上について

これまでの議会改革（主なもの）

当町議会は、近年もさまざまな議会改革を推進してまいりました。平成30年5月ペーパーレス議会に移行（タブレット化）令和4年3月長期欠席議員の取り扱いについて条例を制定令和4年3月議員定数を13に削減令和5年9月本会議の映像配信（ライブ・録画）



映像配信は町のホームページから



タブレットの活用について他議会が視察来庁

令和5年12月
一般質問を一問一答方式に

